

## ● BATTLE GREEN / 連載エッセイ12 ●

次は、高校とデモが予定されている各教会への対策だ。レキシントン町の警察だけではなく、近隣の町の警察が治安のために協力してくれることになったが、ハイトグループに対して何らかの意志を表明したい、という町民の気持ちは収まらない。

「どうせデモをするのならば、我々の町のデパーシテイと協調を強調しましょう」ということで、ユダヤ教会、ユニタリアン教会、コングリゲーションナル教会、バプティスト教会などが混じり合って手をつなぎ、「静かなデモ」を行うことが決まった。しかし、町に存在する宗教団体のうち最も信者が多いグレースチャペルは参加を辞退した。代表者は何の説明もしなかったが、教義で同性愛を罪悪とみなしている彼らにとって、このデモは根本的に支持できないものだったのかもしれない。

☆☆☆

私は「当事者以外ではデモの場に行かないように」という警察の要請に従って高校と教会には行かなかったが、月曜の朝はふだんのジョギング

レキシントン町には多様な宗教団体の代表者が参加する聖職者連合というものがある。その連合が提案したのが、「静かなデモ」である。「静かなデモ」では、参加者は手をつないで輪になり、抗議する相手に背を向けて立つ。彼らがどんなに酷い言葉を口にしようと決して言い返さず、ただ静かに立つだけのデモは「言うは易く行うは難し」である。なれない者は、つい言い返してしまい、それが争いに発展する可能性がある。成功させるためにはトレーニングが必須である。そのトレーニングを引き受けてくれたのは、会議の出席者の一人だ。デモが行われる学校や教会に無関係の人が挙手して「実は、私はその専門家で」と無報酬のトレーニングを気軽に申し出たのは、決して珍しい場面ではなかった。「これをやってくれる人は？」と問いかげがあると、必ず「それは私が引き受けましょう」と誰かが手を挙げる。それがこの会議のスタイルなのである。

☆☆☆

そこで、警官を正門と裏門に配置したうえで、その朝のみ登校時にふだん閉じられている裏門を使うことが決まった。スクールバスだけでなく、自家用車も徒歩の生徒も裏門から入り、正門から入りたい者はなるべく保護者が同伴する。また、保護者がどうしても不安な場合は、その朝に限って遅刻と欠席を認める、というものである。これはハイトグループの存在と意図を頭で理解することがまだできない幼い子供への心理的影響を考慮した配慮である。校長はあらかじめ保護者に手紙を書き、状況とハイトグループの目的、そして彼らを徹底的に無視する対策を説明する。そして、教師には、生徒からの質問があれば簡潔に情報を教えるが、生徒が話題を出さないかぎりはいつもと同じ一日を送るよう指示を出すことになった。

レキシントン町には多様な宗教団体の代表者が参加する聖職者連合というものがある。その連合が提案したのが、「静かなデモ」である。「静かなデモ」では、参加者は手をつないで輪になり、抗議する相手に背を向けて立つ。彼らがどんなに酷い言葉を口にしようと決して言い返さず、ただ静かに立つだけのデモは「言うは易く行うは難し」である。なれない者は、つい言い返してしまい、それが争いに発展する可能性がある。成功させるためにはトレーニングが必須である。そのトレーニングを引き受けてくれたのは、会議の出席者の一人だ。デモが行われる学校や教会に無関係の人が挙手して「実は、私はその専門家で」と無報酬のトレーニングを気軽に申し出たのは、決して珍しい場面ではなかった。「これをやってくれる人は？」と問いかげがあると、必ず「それは私が引き受けましょう」と誰かが手を挙げる。それがこの会議のスタイルなのである。

レキシントン町には多様な宗教団体の代表者が参加する聖職者連合というものがある。その連合が提案したのが、「静かなデモ」である。「静かなデモ」では、参加者は手をつないで輪になり、抗議する相手に背を向けて立つ。彼らがどんなに酷い言葉を口にしようと決して言い返さず、ただ静かに立つだけのデモは「言うは易く行うは難し」である。なれない者は、つい言い返してしまい、それが争いに発展する可能性がある。成功させるためにはトレーニングが必須である。そのトレーニングを引き受けてくれたのは、会議の出席者の一人だ。デモが行われる学校や教会に無関係の人が挙手して「実は、私はその専門家で」と無報酬のトレーニングを気軽に申し出たのは、決して珍しい場面ではなかった。「これをやってくれる人は？」と問いかげがあると、必ず「それは私が引き受けましょう」と誰かが手を挙げる。それがこの会議のスタイルなのである。

## バトルグリーン / 連載エッセイ12

### 渡辺 由佳里

レキシントン町のユニークな対応<その2>

## 沈黙の抗議 - 後編 -



※註 下記の「エスタブルック事件参考サイト・文献」『たからまがじん』2007年10月号～2008年3月号をご参照ください。  
※ 文中の固有名称は新聞などですでに公表されており、ここでも実名を用いています。

### エスタブルック事件参考サイト

【Lexington C.A.R.E.S.、レキシントン公立学校教育長、レキシントン検察長による共同声明】

HYPERLINK "<http://www.lexingtoncares.org/LPSPressRelease2005-05-02.pdf>

【Lexington C.A.R.E.S. による記事】

HYPERLINK "<http://www.lexingtoncares.org/LearnTheFacts.html>"

HYPERLINK "<http://www.lexingtoncares.org/LearnTheFacts.html>

【Article 8 Alliance による記事】

HYPERLINK "[http://www.article8.org/docs/news\\_events/parker/main.htm](http://www.article8.org/docs/news_events/parker/main.htm)"

HYPERLINK "[http://www.article8.org/docs/news\\_events/parker/main.htm](http://www.article8.org/docs/news_events/parker/main.htm)

### 参考文献

Time : "Feels Like Teen Spirit", August 8, 2005.

のついでにエスタブルック小学校の正門を遠くから観察できる道を通った。小雨がふるエスタブルック小学校正門の前には、「神はアメリカを憎んでいる(God Hate America)」というWBCのカラフルなブラカードが並んでいた。彼らを囲んでいるのは、テレビニュースでよく見るレポーター数人と警官だけで、観客が欠落しているために滑稽なほど静かな光景だった。

☆☆☆

夕方方のテレビのニュースでは、WBCがレキシントン町の次に訪れた他の町での住民の抗議デモや保護者とWBCメンバーとの間の罵り合いの場面が繰り返して流れていたが、エスタブルック小学校についてはWBCのメンバーが映ったただけだった。ここでは何もニュースとして伝える事件が起こらなかったからだ。

☆☆☆

翌週のポストンローブ紙に掲載されたのは、レキシントン町のユニークな調和を表現する美しい写真だった。メソジスト教会を背景に、ユダヤ教、ユニタリアン、コングリゲーションナルの信者たちが手をつなぎ、WBCの醜いデモに背を向けて立っている。その静けさが伝えるメッセージは、言葉よりも強いものだった。

翌週のポストンローブ紙に掲載されたのは、レキシントン町のユニークな調和を表現する美しい写真だった。メソジスト教会を背景に、ユダヤ教、ユニタリアン、コングリゲーションナルの信者たちが手をつなぎ、WBCの醜いデモに背を向けて立っている。その静けさが伝えるメッセージは、言葉よりも強いものだった。

翌週のポストンローブ紙に掲載されたのは、レキシントン町のユニークな調和を表現する美しい写真だった。メソジスト教会を背景に、ユダヤ教、ユニタリアン、コングリゲーションナルの信者たちが手をつなぎ、WBCの醜いデモに背を向けて立っている。その静けさが伝えるメッセージは、言葉よりも強いものだった。

翌週のポストンローブ紙に掲載されたのは、レキシントン町のユニークな調和を表現する美しい写真だった。メソジスト教会を背景に、ユダヤ教、ユニタリアン、コングリゲーションナルの信者たちが手をつなぎ、WBCの醜いデモに背を向けて立っている。その静けさが伝えるメッセージは、言葉よりも強いものだった。